

第5学年B組 国語科学習誘導案

教諭 中山 卓海

単元 物語の全体像をとらえ、考えたことを伝え合おう

(本校教育課程 国語科単元 第6項 6月中旬～7月初旬 8時間)

「単元の問題」を提起する根拠

○ 子どもの興味・関心の実態

本学級の子どもは、日常的に学級文庫や図書館で借りた物語を読むことを楽しんでいる。よく読む本や読んでみたい本を尋ねると、「ファンタジーよりも、『銀色の裏地』のような、自分に共感できる本が好きだな。」「『スイミー』や『モチモチの木』のような、主人公が成長していく本も好きだな。」等と物語全体の特徴を理由に挙げて話す姿が見られた。そこで、これまでに読んできた物語を数話提示し全体的な特徴で仲間分けをする活動を行った。すると、『ちいちゃんのかげおくり』と『一つの花』は、どちらも戦争の悲しさや平和の大切さを伝えてくれるね。」「『お手紙』や『銀色の裏地』は、友達との関わりを通して、登場人物が前向きになっているね。」等と話す姿が見られた。このように、子どもは物語全体から伝わってくることを考えたり、物語の展開に目を付けたりして読むことへの関心を高めている。

○ 子どもの能力の実態

本学級の子どもは、登場人物の境遇や状況を把握し、物語全体に描かれた行動や会話に関わる複数の叙述を結び付けて読むことができている。また、登場人物の相互関係に基づいた行動や会話を通して直接的または暗示的に描かれた登場人物の心情について捉えたり、物語に描かれた人物の人物像を想像したりすることもできるようになってきている。しかし、物語の全体像を具体的に想像するまでには至っていない。これは、情景に描写されている人物の心情を具体的に想像することができていないことや、物語全体を通して変化する心情と物語の展開を結び付けながら読むことができていないことが原因であると考えられる。

○ 社会からの要求

これからの社会を担う子どもには、予測困難な変化に主体的に関わり、感性を豊かに働かせながら、新たな価値を創造し、持続可能な社会を形成することが求められている。しかし、SNSやインターネット上でのやり取りが多くなる中、言葉の意味を誤って解釈したり、その言葉の背景にある心情を推察することが苦手だったりして、人との関わりに迷う人も多い。文学的文章は、人の心の様子や些細な変化を、豊かな描写で描いている。そのため、物語全体に描かれた登場人物の言動や心情、場面設定などに着目して、その物語の世界を想像したり、自分なりに意味づけたりすることは、言葉を通して、自他の理解を促したり、新たな価値を創造したりする力につながると考える。さらには、言葉による見方・考え方を磨き、豊かな感性をもったよりよい言葉の使い手や社会の創り手を育む上でも大変意義深いと考えられる。

○ 教科系統上の要求

第1学年及び第2学年では、物語を読み、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像する学習を行った。第3学年及び第4学年では、登場人物の行動や気持ちとその変化、性格、情景について、場面の移り変わりや結び付けて具体的に想像する学習を行った。第5学年及び第6学年では、人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりする学習を行う。このことは、中学校第1学年での、場面と場面、場面と描写などを結び付けて内容を解釈する学習へと発展していく。

単元の問題

物語全体から伝わってくることを想像し、考えたことをまとめて伝え合おう。

- 物語全体で何が、どのようにえがかれているかを確認しよう。
- 物語全体に関わる問いについて、自分の考えをまとめて話し合おう。
- 物語全体から伝わってくることについて、考えをまとめて、友達と伝え合おう。

目 標

<知識及び技能>

○ 比喩や反復などの表現の工夫に気付くことができる。

<思考力, 判断力, 表現力等>

○ 物語の全体像を具体的に想像したり, 表現の効果を考えたりすることができる。

○ 文章を読んで理解したことに基づいて, 自分の考えをまとめることができる。

<学びに向かう力, 人間性等>

○ 言葉がもつよさに気付くとともに, 幅広く読書をし, 国語を大切に, 思いや考えを伝え合おうとする。

誘 導 の 着 眼

【着眼1】 描写を基に, 自分の考えを形成していく単元構想

(1) 描写を基に全体像を読む目的を明確にした単元設定

物語の全体像について, 描写を基に考えることができるように, 既習の「ちいちゃんのかげおくり」「一つの花」と「たずねびと」を読み比べる活動を設定する。さらに, 「詳しく読んで, 物語全体から伝わってくることについて, 考えたい。」という目的を見いだすことができるように, 物語全体から伝わってくることと, その理由を話し合う活動を設定し, 自分や友達の考えのずれを顕在化する。

(2) 物語全体に関わる問いを追究し, 考えを形成していく学習展開

物語の全体像を具体的に想像し, それを基に, 「物語から伝わってくること」について自分の考えを形成していくことができるように, 「挑む」「生かす・広げる」段階において, 以下のように, 物語全体に関わる問いを追究していく学習活動を展開する。

①描かれていることを確かめる	②全体の問いを立てる。	③解釈をつくり, 検討する	④他者との検討を基に, 考えを再構成する
○ 綾の心情の変化を, 「場所」や「人」, 「登場人物の会話や行動」「情景」等に着眼して読み, 物語の展開を捉える。	○ 描かれていることを確かめた上で, 疑問に思ったことを話し合い, 「物語全体に関わること」を条件に, 全体で解決したい問いを決める。	○ 全体の問いに対する自分の解釈をつくり, その妥当性について描写を根拠に話し合う。	○ 読み取ったことや自他の解釈を基に, 「話し合いによって変化した自分の考え」を視点に, 考えを再構成する。

【着眼2】 描写の意味を問い直す学び合い

物語の展開に即した綾の心情や, 綾が訪れた場所や出会った人についての描写に着目して, 物語の全体像を具体的に想像することができるように, 他者の解釈やその解釈の根拠となる描写について交流し, 描写の意味を問い直す学び合いを設定し, 以下の手立てを講じる。

手立て	具体的な方法
話し合いの視点の焦点化	グループや全体で話し合う際に, 「物語全体を通して綾の考えはどのように変わったのか。」「変わったことが分かる表現(描写)は何か。」の2つの視点を提示し, 視点ごとに子どもの発言を整理したり, 発言者を意図的に指名したりする。
描写の意味を問い直す働きかけ	子どもの発言に沿って, 「綾の戦争に対する見方が変化したことが分かる文章はどこですか。」と発問し, 言葉の意味や働き, 使い方に関わる子どもの考えを引き出す。 【引き出したい子どもの発言の例】 ○ 「原爆資料館の時点では, 『～なんて。』と信じられない気持ちがあるけど, 最後には『この世から消し去ってしまった。』と言い切っている。」 ○ 「最後の部分だけ, 「わたし」が「わたしたち」に変わっているから, 綾の決意を感じるし, 私たち読者も戦争を忘れてはいけないと感じさせる。」

展開計画（総時間数 8 時間）

	主な学習活動	教師のねらいとその手立て	評価の規準と観点
出合う・見いだす	1 既習の戦争児童文学と「たずねびと」を読んで比べた感想を話し合い、学習問題を設定する。 1	○ 学習問題を生起し、学習計画を立てることができるように、既習の戦争児童文学と「たずねびと」を読んで比べた感想を伝え合う活動を設定する。	○ 物語の全体像を想像して感想を伝え合うことに意欲を高めている。 (主体的に学習に取り組む態度)
	中心問題 物語全体から伝わってくることを想像し、考えたことをまとめて伝え合おう。		
挑む	分析問題 1 物語全体で何が、どのようにえがかれているかを確認しよう。		
	2 「たずねびと」を読み、物語の展開や綾の心情の変化について確かめる。 1	○ 物語の展開や登場人物の心情を捉えることができるように、綾がたずねた「場所」や「人」、綾の心情が分かる「会話」「行動」「情景」等を読み視点として確認する。	○ 比喻や反復などの表現の工夫に気付いている。 (知識・技能)
	3 読んで分かったことや考えたことについて話し合い、学級全体で解決したい問いを決める。 1	○ 問いを見いだすことができるように、話し合いで生じた疑問に対する考えを交流する活動を設定し、解釈のずれを顕在化する。 (全体で話し合っ解決する問い) ・ 広島で綾がたずねた場所や人によって、綾の考えがどのように変わったのだろう。 ・ 題名で何を表しているのだろう。	
	分析問題 2 物語全体に関わる問いについて、自分の考えをまとめて話し合おう。		
	4 問いについて、自分の考えをまとめる。 1	○ 問いについて考えをまとめることができるように、前時までに読んで確かめたことや着目した描写を根拠に考えをまとめる活動を設定する。	
5 考えたことについて話し合う。 <本時 1 / 2 > 2	○ 物語の全体像について具体的に想像することができるように、物語全体に関わる問いについて考えたことを交流し、それを基に自分の考えを再構成する活動を設定する。	○ 物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。 (思考・判断・表現)	
生かす・広げる	分析問題 3 物語全体から伝わってくることについて、考えをまとめて、友達と伝え合おう。		
	6 「たずねびと」を読んだことを基に、伝わってくることをまとめる。 1	○ 物語の全体像を読むよさを実感できるように、「たずねびと」を読み深めたことを基に、「平和や戦争に対する見方や考え方の変化」を視点に伝わってくることをまとめる活動を設定する。	○ 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。 (思考・判断・表現)
7 まとめたことを伝え合い、単元全体の学びを振り返る。 1	○ 物語から伝わってくることについて話し合う価値を実感することができるように、まとめたことを交流したり、本単元で学んだことを内容面と方法面から振り返ったりする活動を設定する。	○ 進んで他者と感想を伝え合い、単元を通して学んだことを今後の読書や生活に生かそうとうしている。 (主体的に学習に取り組む態度)	










（1） 主眼

「広島で綾がたずねた場所や人によって、綾の考えがどのように変わったのだろうか。」という問いに対する考えを話し合ったり、話し合ったことを基に自分の考えをまとめたりする活動を通して、物語の展開に即した綾の心情や、綾が訪れた場所や出会った人についての描写に着目して、物語の全体像を具体的に想像することができるようにする。

（2） 準備

学びの足あと

（3） 展開

学習活動と子どもの意識	誘導上の留意点（○）と評価（※）
<p>1 前時学習を想起して、本時のめあてを話し合う。</p>  <p>広島に行く前の綾と、最後の場面の綾には、広島の見方や戦争に対する考えの変化が見られるよ。何によって、どのような変化があったのかな。</p>	<p>○ 本時における問題意識を高めることができるように、学習計画に沿って前時までの学習を想起し、本時で解決したいことを話し合う活動を設定する。</p>
<p>広島で綾がたずねた場所や人によって、綾の考えがどのように変わったのだろうか。</p>	
<p>2 自分の考えを話し合う。</p> <p>（1） グループで話し合う。</p>  <p>広島町に対して、「にぎやかな通り」という見方から、「元はにぎやかな町だった。」という見方に変わっているよ。原爆資料館に行くことで、戦争によって失われた町の風景があることに気付いているね。</p>  <p>「いくつもいくつものおもかげが重なって」という部分から、ただの数だった死没者を、一人一人の顔が浮かぶほど、はっきりと捉えたことが分かるよ。</p> <p>（2） 全体で話し合う。</p>  <p>資料館での説明や、祈念館での写真、おばあさんとの話によって、綾は戦争の恐ろしさがより詳しく分かるようになったと思うよ。</p>  <p>なるほど。では、綾の戦争に対する見方が変化したことが分かる文章はどこですか。</p>  <p>最後に、「資料館で読んだ説明が思い出された」とあるので、資料館で、実際に14万人がたった一発の原爆で亡くなったという事実気付いているよ。</p>  <p>資料館の場面では、「この世からいなくなってしまうなんて。」と書かれていて、信じられない面があったけど、最後には、「この世から消し去ってしまった。」と書かれているよ。祈念館やおばあさんとの話を通して、戦争によって失われたものを捉えたことが分かるよ。</p>  <p>「わすれないでいたら」という言葉を繰り返している部分から、戦争の事実を受け止め、忘れないでいようとする綾の決心も伝わってくるね。</p>	<p>○ 自分の考えの根拠とした描写の解釈を広げたり深めたりすることができるように、根拠とした描写が異なる子ども同士でグループを編成し、話し合う活動を設定する。</p> <p>○ 子どもの解釈の違いや根拠の違いを明確にすることができるように、「綾の考えの変化」と「変化が分かる表現」の視点で子どもの発言を板書に整理したり、意図的に発言者を指名したりする。【着眼2】</p> <p>○ 物語の展開に即して変化した綾の戦争に対する見方について、根拠となる描写と結び付けて具体的に想像することができるように、子どもの発言に沿って、「綾の戦争に対する見方が変化したことが分かる文章はどこですか。」という発問をする。【着眼2】</p>
<p>3 本時学習をふり返り、次時の見通しをもつ。</p>  <p>広島をたずねることによって、綾が戦争のおそろしさを知ったことは分かっていたけれど、「14万人や町を失ったこと。」「今もまだ、遺族すら分かっていない人がいる。」という事実を綾が受け止め、「忘れないでいる。」という決心をしていることが、この物語全体を通して綾の変化だと分かったよ。</p>	<p>○ 話し合いを基に、自分の考えを形成することができるように、「話し合いによって変化した自分の考え」を視点に、本時の学びをふり返る活動を設定する。【着眼1】</p> <p>※ 物語の展開に即した綾の心情や、綾が訪れた場所や出会った人についての描写に着目して、物語の全体像を具体的に想像している。</p>